

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

施設の情報		管理No.
施設の名前	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館	指定管理者 高島町
所在地	山形県東置賜郡高島町大字安久津2117番地	県担当課 観光文化スポーツ部博物館・文化財活用課
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和6年3月31日	(電話番号) (023-630-2881)
検証期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日	
検証項目	指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証
1 仕様書等に沿った管理・運営業務の履行状況		
① 管理・運営業務の履行状況	<p>仕様書及び事業計画書の内容を遵守し、達成している。</p> <p>●普及啓発活動</p> <p>①県内市町村の教育機関に「催し物案内」やその都度印刷する各種事業案内チラシを送付して情報提供に努めた。また、展覧会等は全国の関連機関に情報提供を行い、ホームページでも随時情報を公開した。</p> <p>②各種体験学習や講座、研修会を開催。令和4年度も新型コロナウイルスの感染拡大防止策をとり、体験学習は参加者の完全予約制で密を避けると共に、講座と講演会は受講者数をひとつの机に一人の合計20名に限定し開催した。しかし当初予定していた事業のうち、「遺跡の旅」はコロナ禍で参加希望者が少なかったため3年連続の中止とせざるを得なかった。この結果、入館者数は、一昨年、昨年よりは回復しているが、未だ、コロナ前の6割程度に留まっている。</p> <p>●施設・設備等の管理</p> <p>点検・修繕を適切に行うとともに、これまで同様節電に取り組んだ。また、一昨年の屋根の修繕に続き、今年度は展示室・収蔵庫の空調設備が更新され、長年の課題であった「収蔵品のカビ発生」の危険が解消された。</p> <p>●資料の収集、保管及び展示に関する業務</p> <p>①特別テーマ展「高瀬山の考古学Ⅰ」、企画展「最上地域の縄文時代」を開催した。展示遺跡の調査成果をパネルで展示するなど、わかりやすい展示を心がけた。また、展示図録も刊行した。</p> <p>②当館の長年の課題であった収蔵品台帳の整備を継続しているが、他の業務との関連で今年度は飯豊町の整備で留まった。また、日常的に温湿度の記録を行い、除湿器やサーキュレーターを活用し保管環境の改善に努めている。空調設備の更新後も記録作成は継続する予定である。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>《評価の理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕様書や事業計画書に沿って、適切に管理及び運営業務が履行されている。 ・新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、引き続き感染防止対策を講じながら各種事業が企画・実施されており、入館者数も令和3年度と比較して約12.5%増加している。 ・令和4年度は収蔵庫・展示室系統空調設備更新工事を実施したところであるが、引き続き日常の温湿度の記録を行うなど、適切に保管がなされているほか、収蔵品台帳の整備にも継続して取り組んでいる。 ・経費節減、節電に努め、環境に配慮した管理・運営がなされている。
② 管理・運営上の課題、問題点(改善すべきこと)	展示解説を動画で行うため、館内にWiFi環境を整備していただきたい。	<p>《課題等の原因分析》</p> <p>新たな試みとして、企画展の展示解説動画の配信にも取り組み、スマートフォン等で閲覧できるようになったが、WiFi環境がないため利用者からは整備を望む声が上がっている。</p>
課題、問題点への今後の対応	開館から30年が経過し、施設の老朽化や経年劣化による設備の不具合も顕在化してきているため、今後も優先度を考慮しながら計画的な修繕及び施設整備に努めていく。	
2 利用者からの要望等への対応		
① 意見・要望等及びその対応状況	<p>●館内にアンケートボックスを設置し、来館者の意見を聞いている。入館者から企画展の解説を配信しているのだから、館内にWiFi環境を整備して欲しいとの要望があった。できるだけ早く整備を実施したい。</p>	<p>評価</p> <p>B</p> <p>《評価の理由》</p> <p>アンケート調査の実施により、利用者の要望・意見の把握に努め、利用環境の改善に活かしている。</p>
意見・要望等への今後の対応	<p>・今後も来館者に対するアンケートを実施し、利用者の意見・ニーズの把握に努める。</p> <p>・把握したニーズについては、可能なところから施設の管理運営に反映していく。</p>	
3 指定管理者制度活用の効果		
① サービスの向上	<p>●今年度も各種体験学習や講座も参加人数の制限が続き、希望者の皆様には、大変な御迷惑をおかけすることとなった。また、人数制限があるため、参加者負担での共催事業は今年度も見送らざるを得なかった。館外でできる町内及び近隣市町の学校や社会教育施設での体験を含む前講座も、積極的に対応することを続けていきたい。コロナ禍で増加した県内小学校の修学旅行による来館も、昨年以上に増加している。学区内の遺跡紹介など適切な資料を作って対応していきたい。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>《評価の理由》</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、幅広い世代が楽しめる体験学習を積極的に展開するなど、サービス向上に努めている。また、修学旅行や社会科見学等に積極的に対応し、好評を得ている。</p>
② 経費の節減	<p>●これまでどおり、日頃から省エネ活動に努め、入館者の観覧中を除いて展示室は消灯し、来館者が見込めない冬期間暖房を切って、光熱費を削減した。また、裏紙の再利用や両面印刷で経費削減を行った。</p>	<p>評価</p> <p>B</p> <p>《評価の理由》</p> <p>限られた経費の中で、これまでの施設運営管理のノウハウを活かし、経費の削減に努めている。</p>
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	<p>●コロナ禍の中であるが「うきたむ考古の会」の協力を得て実施している講座や研修会も、入館者制限もあって、ほぼ満員の参加者を確保できている。また、当館が所在する歴史公園の「歴史公園管理組合」や高島町観光協会と連携して、「道の駅」や「まほろば古の里歴史公園」と一体化し、ナイトミュージアムを開催するなど、地域全体の活性化を目指した。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>《評価の理由》</p> <p>他団体との連携にも積極的に取り組んでいるほか、近隣の施設と連携した新たな事業を展開するなど、地域全体の活性化にも貢献している。</p>
総合的な評価	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響が続く中ではあるが、仕様書、包括協定書、年度協定書に基づき、施設の適切な管理運営が行われている。</p> <p>・自主事業や展示内容の充実、修学旅行や出前授業の積極的な受け入れ等により、より魅力的な施設運営に努めており、入館者の回復につながっている。</p> <p>・引き続き、地域の関係団体との連携をより深めながら、さらなる施設の利用促進や地域活性化に取り組んでいただきたい。</p>	

【評価指標】

- A : 仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
 B : 概ね適正に実施されている。
 C : 部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
 D : 仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。